

## 《ブロンドの記譜法》 *Notation in Blonde* 2023

毛髪式温湿度計, マルク=テオドール・ブーリがオラス=ベネディクト・ド・ソシュールのために描いたモン・ビュエ山頂からの360°パノラマ図, 『湿度測定法に関する試論』初版本, 映像作品《モン・ビュエ》, 20スイス・フラン (第6次紙幣), 映像インスタレーション作品《ブーリは道を知っている》

### 1. 「毛髪式温湿度計」

「毛髪式温湿度計」は環境を記録する装置であり、人工物が並ぶ美術館の展示室の中で唯一、身体の一部をパーツとして稼働する機器である。そのセンサー部分には女性のブロンド（金髪）が多く用いられ、メーカーによっては「フランス少数民族の女性の毛髪」という指定まで存在する。こうした基準を示すものに含まれる奇妙な事物は、分類を乱し、議論を呼ぶものでもあると考える。

### 2. 「マルク=テオドール・ブーリがオラス=ベネディクト・ド・ソシュールのために描いたモン・ビュエ山頂からの360°パノラマ図」

オラス=ベネディクト・ド・ソシュール（科学者、1740年-1799年）の著書『アルプス旅行記』第1巻（1779年）には、フランスはオート=サヴォワ県にあるモン・ビュエ山頂からのパノラマ図が描かれている。ソシュールは1776年にモン・ビュエを登頂した際、周囲のアルプス、特にモン・ブランの山塊をスケッチした。それを基に、マルク=テオドール・ブーリ（作家、1739年-1819年）に本パノラマ図を描かせている。18世紀末、こうした科学者たちが観測のために登頂し、モン・ビュエは科学史において重要な役割を果たした。

### 3. 「湿度測定法に関する試論」

「湿度測定法に関する試論」（原題：*Essai sur l'hygrométrie*）は、1783年にソシュールによって書かれた論文であり、同名の書籍として刊行された。展示物はその初版本である。毛髪式温湿度計の起源とされるこの論文にはその原型が描かれており、図には既にセンサーとしての毛髪が確認できる。現在までの240年もの間、毛髪式温湿度計の構造自体は大きく変わっていない。

### 4. 《モン・ビュエ》2023

シングルチャンネルHDビデオ・カラー・サイレント、3分58秒

### 5. 「20スイス・フラン」

スイス国立銀行発行の20スイス・フラン。表面にはソシュールの肖像画と毛髪式温湿度計が描かれており、裏面にはアンモナイトとアルプスを縦走する山岳隊が描かれている。第6次紙幣として1979年から2000年まで発行された。

### 6. 《ブーリは道を知っている》2023

10チャンネルHDビデオ・サウンド・カラー、円卓、5つのモニター、iPhone、ピアノ椅子、36分15秒

円卓を囲む5名の話者によって、毛髪式温湿度計についての議論をきっかけに、様々な語りが繰り返される。スイスの羊飼いがアルプスを登る際に携帯した食べ物である「ミューズリー」を作り、食事を共にする話者。書籍や紙幣を媒介に「湿度」、「毛髪」、「名前」、「アルプス」、「のど飴」…といった様々なキーワードから、それぞれの経験や考えが語られる。

本作は「目に見えないものの状態を探る」装置であり、話者の座る位置や彼らの会話は、現在地を知るための座標となる。5台のモニターは収録時のカメラの位置に相当し、5つのiPhoneには収録時の話者の手元が映し出されている。空席のピアノ椅子は、話者がそれぞれ決めた椅子の高さとなっている。これらは座標のなかで「点」を定めるための座標系なのである。

キャスト：神林優美、立花光、谷村無生、中村さやか、三宅愛  
撮影・録音・照明：岸本康  
音声モニタ：関麻観子、森倉伶、上川旺祐  
テクニカルサポート：山形一生

テキスト：肥後亮祐